

令和7年度 1年 国語科 年間指導計画

学期	月	単元	教材名	時数	主な学習内容
1学期	4	1学びをひらく	朝のリレー/野原はうたう/書き留める	5	○音声の働きや仕組みについて、理解を深める
			はじまりの風	4	○物語を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。
			情報を聞き取り、要点を伝える	1	○紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。
			音声の仕組みや働き	1	○音声の働きや仕組みについて、理解を深める。
	5		話の構成を工夫しよう	4	○紹介など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。
			漢字の組み立てと部首	1	○部首について理解する。
			ダイコンは大きな根？	2	○説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。
			ちょっと立ち止まって	3	○説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。
	6	2新しい視点で	比較・分類	1	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深める。
			情報を整理して説明しよう	4	○本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。
			指示する語句と接続する語句	1	○指示する語句と接続する語句の役割について理解を深める。
			3言葉に立ち止まる	空の詩 三編	4
比喩で広がる言葉の世界	2	○比喩について理解を深める。			
7	情報×SDGs	情報収集の達人になろう	3	○や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。	
	いつも本はそばに	本の中の中学生	2	○読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する	
2学期	9	4心の動き	大人になれなかった弟たちに……	4	○物語を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。
			星の花が降るころに	5	○小説を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。
			項目を立てて書こう	3	○行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く。
			推敲 読み手の立場に立つ	1	○行事の案内を書くなど、伝えるべきことを整理して書く。
			方言と共通語	1	○共通語と方言の果たす役割について理解する
			聞き上手になろう	2	○紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。
			漢字の音訓	1	○漢字の音訓について理解する。
	10	5筋道を立てて	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	5	○記録の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。
			意見と根拠	1	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。
			根拠を明確にして書こう	5	○本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。
			文法への扉2	3	○語の類別について理解する。
			大阿蘇	1	○詩の朗読を聞いて感じたことや考えたことを交流する。
	11	6いにしへの心にふれる	いろは歌	1	○古典にはさまざまな種類の作品があることを知る。
			蓬萊の玉の枝	4	○古文を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする
			今に生きる言葉	3	○漢文を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。
	12	7価値を見いだす	「不便」の価値を見つめ直す	4	○説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。
			原因と結果	2	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。
			進め方について考えよう	1	○互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。
			話題や展開を捉えて話し合おう	4	○互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。
		いつも本はそばに	研究の現場にようこそ	1	○学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする。
	3学期	1	8自分を見つめる	少年の日の思い出	7
文法への扉3		2		○単語の類別について理解することができる。	
2		二十歳になった日		4	○随筆を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。
		構成や描写を工夫して書こう		5	○随筆など、感じたことや考えたことを書く。
		漢字の成り立ち		1	○漢字の成り立ちについて理解する。
3		一年間の学びを振り返ろう		4	○紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。
		ぼくが ここに		2	○詩を読み、考えたことなどを伝えあう。
		国語の力試し	3	○一年間の振り返りを行う。	

令和7年度 1年 国語科（書写） 年間指導計画

学期	単元	教材名	時数	主な学習内容
1 学 期	1 読みやすく書くための楷書	漢字を分解してみよう・漢字の筆使い	2	・点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書く。
		楷書に調和する仮名（いろは歌）	2	・楷書に調和する仮名の筆遣いや字形に注意していろは歌を書く。
		文字の大きさと配列（俳句）	3	・文字の大きさと配列を意識して俳句を書く。
2 学 期	2 読みやすく速く書くための行書	行書の特徴	2	・行書の筆遣いの特徴を理解する。
		点画の変化	3	・点画の終筆の形の変化を意識して、毛筆で「大木」を書く。
		点画の連続	3	・点画の連続を意識して、毛筆で「日光」を書く。
3 学 期	2 文字を使い分ける	季節のしおり	1	・これまでに学習したこと（楷書の筆使い／楷書に調和する仮名／文字の大きさと配列／行書の特徴）に注意して、季節の言葉を硬筆でなぞる。

令和7年度 2年 国語科 年間指導計画

学期	月	単元	教材名	時数	主な学習内容
1学期	4	1 広がる学びへ	見えないだけ	3	○詩の特徴を生かして朗読し、作品を楽しみ味わう。
			アイスブランク	5	○登場人物の思いを読み取り、それに対する自分の考えをまとめる。【キャリア】
			意見を聞き、整理して検討する	1	○意見と根拠の適切さについて話し合う。
			魅力的な提案をしよう	5	○テーマを決めて、情報を集め、構成を考え、プレゼンテーションを行う。
	5	2 多様な視点から	枕草子	4	○「枕草子」を読み味わう。 ○自分流「枕草子」を書く。
			漢字に親しもう1	1	○熟語の構成の種類について学ぶ。
			クマゼミ増加の原因を探る	5	○構成を捉え、内容を読み取る。 ○考えたことを話し合う。
			思考の視覚化	1	○情報を整理して関係を図で表す、四つの方法を学ぶ。
	6	3 言葉と向き合う	職業ガイドを作る	5	○情報を整理して職業ガイドを作り、感想を伝え合う。
			漢字に親しもう2	1	○教科書の練習問題に取り組む。
			文法への扉1	2	○自立語の各品詞の性質について学ぶ。
			情報×SDGs	3	○メディアを比べて、特徴を理解する。 ○情報を受け取る時の留意点について考える。
2学期	7	4 人間のきずな	短歌に親しむ／短歌を味わう	5	○短歌を鑑賞し、一首選んで鑑賞文を書く。 ○目にした情景や感動を短歌に詠む。
			言葉の力	3	○筆者の考えを理解しそれに対する意見を交流する。
			言葉1／語彙を豊かに	1	○対義語・対義語・多義語について学ぶ。
			いつも本はそばに	2	○翻訳や外国文学について知る。
	9	5 論理を捉えて	メディアの特徴を生かして情報を集めよう	3	○メディアを比べて、特徴を理解する。 ○情報を受け取る時の留意点について考える。
			短歌に親しむ／短歌を味わう	5	○短歌を鑑賞し、一首選んで鑑賞文を書く。 ○目にした情景や感動を短歌に詠む。
			言葉の力	3	○筆者の考えを理解しそれに対する意見を交流する。
			言葉1／語彙を豊かに	1	○対義語・対義語・多義語について学ぶ。
	10	6 いにしえの心を訪ねる	読書を楽しむ／星の王子さま	2	○翻訳や外国文学について知る。
			ヒューマノイド	5	○登場人物の言動の意味を捉え、作品の印象を伝え合う。【人間関係】
			字のない葉書	4	○表現に着目し、人柄や心情を読み取る。 ○父親に対する「私」の思いを読み取る。
			質問で思いや考えを引き出す	1	○2人1組になり、互いにインタビューし合う。
	11	7 価値を語る	手紙や電子メールを書く	3	○手紙や電子メールを書き、気持ちや要件が伝わったかを互いに伝え合う。
			推敲 表現の効果を考える	2	○手紙の下書きを読み、適切な文字や表記に改める。
			敬語	2	○敬語の働きや種類について理解する。
			漢字2／漢字に親しもう3	1	○類義語や対義語等を問題演習によって理解する。
	12	8 表現を見つめる	モアイは語る	6	○文章の構成に着目し内容を捉え、筆者の意見に対する自分の考えを文章にまとめる。
			根拠の吟味	1	○教科書の問題に取り組む。
			意見文を書く	4	○社会生活からテーマを決め意見文を書き読み合う。
			月夜の波辺	1	○言葉の響きやリズムを味わいながら詩を朗読する。
3学期	1	9 6 いにしえの心を訪ねる	源氏と平家／平家物語／扇の的	5	○登場人物の言動から、心情を考える。 ○読み取ったことを基に自分の考えを述べる。
			仁和寺にある法師「徒然草」から	3	○本文を読み、作者の批判的精神を理解する。
			漢詩の風景	4	○人物の特徴を捉えて、文章にまとめる。
			漢詩の風景	4	○解説を手掛かりに、漢詩を読み味わう。
	2	10 7 価値を語る	君は「最後の晚餐」を知っているか／「最後の晚餐」の新しさ	5	○二つの文章を比較して、構成や表現の特徴を捉える。
			鑑賞文を書く	2	○作品を鑑賞し、魅力を一文で表す。
			異なる立場から考える／立場を尊重して話し合おう	4	○討論のテーマを決め、情報を集め、考えをまとめて討論する。
			具体と抽象	1	○複数の情報を抽象化や具体例で説明する。
	3	11 8 表現を見つめる	漢字に親しもう4／文法への扉2	3	○教科書の練習問題に取り組む、理解を確かめる。
			「自分らしさ」を認め合う社会へ／他	2	○教材を通読し、感想を伝え合う。
			走れメロス	8	○場面の展開に即して人物像を捉える。 ○作品の魅力をまとめ、語り合う。【人間関係】
			漢字に親しもう5	1	○教科書の練習問題に取り組む、理解を確かめる。
3学期	2	12 8 表現を見つめる	文法への扉3	2	○練習問題に取り組む、理解を確かめる。
			描写を工夫して書こう	4	○心の動きが伝わるように物語を書く。
			言葉3 話し言葉と書き言葉	2	○例文から話し言葉と書き言葉の違いを考える。
			漢字3 送り仮名	2	○送り仮名の主な原則と例外について理解する。
	3	13 8 表現を見つめる	鍵	2	○表現の意味や作者のものの見方を語り合う。
			国語の学びを振り返ろう	4	○「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る。

令和7年度 2年 国語科（書写） 年間指導計画

学期	単元	教材名	時数	主な学習内容
1 学期	1 読みやすく速く書くための行書	点画の省略「積雲」	3	・点画の省略を理解して、行書で書く。
		筆順の変化「紅花」	3	・筆順の変化を理解して、行書で書く。
		行書に調和する仮名（いろは歌）	3	・行書に調和する仮名の特徴を確かめて書く。
2 学期		行書と仮名の調和「豊かな森」	3	・行書と仮名の調和を意識して書く。
		硬筆で書いてみよう	2	・行書の特徴を理解し、点画の連続、変化、省略と筆順の変化が強い漢字を硬筆で書く。
		楷書と行書の使い分け	2	・楷書に調和する平仮名との違いを確認し、行書と平仮名を調和させて書く。
3 学期	2 文字を使い分ける	行書を活用しよう	1	・行書に調和する平仮名の筆使いを理解して書く。
		季節のしおり「春はあけぼの」	1	・行書に調和する平仮名の特徴を理解して硬筆で書く。 ・1年間で学習したことを確認する。
		◆書き初めをしよう「将来の夢」「温故知新」	5	・学習したことを生かして書き初めを書く。

令和7年度 3年 国語科 年間指導計画

期	月	単元	教材名	時数	主な学習内容		
1 学 期	4	1 深まる学びへ	世界はうつくしいと	2	○詩の特徴を生かして朗読し、作品を楽しみ味わう。		
			握手	5	○登場人物の人物像や心情を読み取り、感想を交流する。【人間】		
			「聞く」意見を聞き、適切さを判断する	2	○意見や根拠が適切かどうか確かめながら聞く。		
	5		学びて時に之を習ふ	4	○「論語」を読み味わう。 ○孔子の考え方を読み取り、日常生活から孔子の考え方が当てはまる体験を伝え合う。		
			スピーチで心を動かす	3	○話題を決め、情報を集め、話の構成を考え、スピーチをする。		
			文法への扉1	1	○文節、連文節の係り受けなど既習の文法を確認する。		
			漢字に親しもう1	1	○熟語の読み方の種類について学ぶ。		
			言葉1／言葉の違い	1	○相手やその場に応じた言葉の違いについて理解する。		
	6	2 視野を広げて	作られた「物語」を超えて	4	○筆者の主張と論理の展開を捉える。 ○筆者の主張と論理の展開を評価する。		
			具体化・抽象化	1	○教材文を通読し、具体化と抽象化の程度について理解する。		
			論理の展開を意識して書こう／グラフを基に小論文を書く	4	○作品を鑑賞し、魅力を一文で表す。 ○説得力のなる文章を書く。		
			漢字に親しもう2	1	○教科書の練習問題に取り組む。		
	7	3 言葉とともに	俳句の可能性／短歌を味わう	5	○短歌を鑑賞し、一首選んで鑑賞文を書く。 ○目にした情景や感動を短歌に詠む。		
			言葉の釣り糸を垂らす	2	○筆者ならではの語彙や表現のしかたに着目し、筆者のものの見方や考え方について考える。		
		情報×SDGs	語彙を豊かに	2	○教材文を読み、時代や世代による言葉の変化があることを知る。		
			言葉2／和語・漢語・外来語	1	○和語・漢語・外来語の印象の違いを考える。		
	2 学 期	9	4 状況の中で	読書を楽しむ／羊と鋼の森／ たけなすのていつてんこと？	2	○学校図書館やインターネットで、興味が持てそうな本を探す。	
				挨拶	2	○当時の時代背景を確認し、詩から感じたことを交流し合う。	
				故郷	7	○場面や登場人物の設定について読み取る。 ○作品の持つ特性や価値について評価する。【キャリア】	
聞き上手になろう				1	○3～5人で1組になり、話し手、聞き手、聴衆に分かれて対談を行う。		
10		5 自らの考えを	【推敲】論理の展開を整える	2	○教科書の課題に取り組む。		
			言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	1	○教材文を読み、慣用句、ことわざ、故事成語の特徴や性質について理解する。		
			漢字2	1	○教材文を読み、「翻訳語」と「新しい語」の側面から漢字の造語力について知る。		
			複数の意見を読んで、考えよう	3	○文章の要旨を捉える。 ○自分の考えを文章にまとめる。		
11		6 いにしえの心を受け継ぐ	考えを効果的に伝えよう	5	○社会生活の中から題材を選び、批評文を書く。		
			漢字に親しもう3	1	○教科書の練習問題に取り組む。		
			文法への扉2	1	○教科書の練習問題に取り組み、理解を確かめる。		
			聴きひたる 初恋	1	○言葉の響きやリズムを味わいながら聴く。。		
12		7 価値を生み出す	和歌の世界／音読を楽しもう／古今和歌集仮名序	1	○三大和歌集の特徴や性質について学ぶ。 ○「仮名序」を読み、作者の思いを読み取る。		
			君待つと 万葉・古今・新古今	3	○和歌の世界を味わう。 ○心に響いた一首を選び、鑑賞文を書く。		
			夏草 「おくのほそ道」から	4	○芭蕉の物の見方や感じ方を読み取る。 ○心に響く俳句について発表する。		
			古典名句・名言集	1	○教科書を朗読し、気に入った名句・明言を選ぶ。		
3 学 期		1	8 未来へ向かって	それでも、言葉を	5	○筆者の考え方を確認しながら全文を通読する。 ○筆者の考え方について話し合い、自分の考えをまとめる。【自己】	
				【話し合い（進行）】話し合いを効果的に進める	2	○話し合いの例を聞き、論点を整理する。 ○教科書の設問について考える。	
				漢字3／漢字に親しもう4	1	○教科書の練習問題に取り組み、理解を確かめる。	
	合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く			4	○課題を見つけ、議題を決め、グループで会議を開く。		
	2	いつも本はそばに		1	○教材を通読し、感想を伝え合う。		
		温かいスープ		3	○筆者の考える「国際性」とは何かを読み取る。 ○国際性について自分の考えをもつ。		
		アラスカとの出会い		2	○筆者の生き方や考え方を読み取る。		
	3	律儀な桜		1	○筆者のものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。		
		わたしを束ねないで		1	○作者の思いを読み取り、自分の可能性について考える。		
		三年間の歩みを振り返ろう		3	○印象に残る学習について文章にまとめる。		
	4 学 期	1		9 未来へ向かって	漢字に親しもう5	2	○教科書の練習問題に取り組み、理解を確かめる。
					言葉3 ことわざ・慣用句・四字熟語	1	○言葉の成り立ちや意味について理解する。
			漢字に親しもう6		1	○漢字の造りや意味について学ぶ。	
			言葉4 ことわざ・慣用句・四字熟語		1	○言葉の成り立ちや意味について理解する。	
		2	10 未来へ向かって		言葉5 ことわざ・慣用句・四字熟語	1	○言葉の成り立ちや意味について理解する。
					漢字に親しもう7	1	○漢字の造りや意味について学ぶ。
					言葉6 ことわざ・慣用句・四字熟語	1	○言葉の成り立ちや意味について理解する。
					漢字に親しもう8	1	○漢字の造りや意味について学ぶ。
		3	11 未来へ向かって		言葉7 ことわざ・慣用句・四字熟語	1	○言葉の成り立ちや意味について理解する。
漢字に親しもう9					1	○漢字の造りや意味について学ぶ。	
言葉8 ことわざ・慣用句・四字熟語					1	○言葉の成り立ちや意味について理解する。	
漢字に親しもう10					1	○漢字の造りや意味について学ぶ。	
4		12 未来へ向かって	言葉9 ことわざ・慣用句・四字熟語	1	○言葉の成り立ちや意味について理解する。		
			漢字に親しもう11	1	○漢字の造りや意味について学ぶ。		
			言葉10 ことわざ・慣用句・四字熟語	1	○言葉の成り立ちや意味について理解する。		
			漢字に親しもう12	1	○漢字の造りや意味について学ぶ。		

令和7年度 3年 国語科（書写） 年間指導計画

学期	単元	教材名	時数	学習のねらい
1 ～ 2 学期	1 文字を使い分ける	文字の使い分け	2	・ 1，2年生で学習したことを確認しながら練習する。
		日常に役立つ書式	3	・ 文字の表現効果に興味を持ち、表現効果を考えながら、いろいろな筆記用具を用いて便箋や葉書、原稿用紙や短冊などに書く。
	2 未来へ向かって	書き初めをしよう「大志を抱け」 「旅立ちの春」	5	・ 今まで学習したことを生かして書き初めを書く。